

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	①若者対象コース		
事業名	よこはまユースニューディール ～ニート・ひきこもり等の若年無業者を対象とした就労支援～		
法人名	学校法人 岩崎学園		
学校名	情報科学専門学校		
代表者	学校長 岩崎 幸雄	担当者 連絡先	平田 恭彦 TEL 045-311-5562

1. 事業の目的

①若年無業者の方々が技能・技術を習得するための「資格取得講座」を開設する。

講座内容は若者の就労に向けて役立つ資格取得の教育訓練として、「ITコース」、「簿記コース」を設ける。

②若年無業者の就職活動に向けた支援をテーマとした「就労支援セミナー」を開設する。

就職活動に取り組むにあたって必要なリテラシー、知識等を再確認するためのセミナーを実施する。セミナーの概要は、E-若者サポートステーションの協力を得て、参加できない若者も閲覧できるようにWebサイトへ公開する（アーカイブ作成・掲載料不要）。

③「資格取得講座」受講者に対して、「ジョブ・カード制度」を運用する。

「ジョブ・カード制度」の仕組みを理解し、就職活動に向けて自身のジョブ・カードを作成する。さらに、ジョブ・カード制度で提供する「職場見学・体験講習」への参加を促し、仕事に対する理解を図る。

④「キャリアカウンセラー」を配置し、若者の個別課題の解消にあたる。

社会参画活動・就職活動に向けて、若者の個別の相談に対応するため、若者サポートステーションの協力を得てキャリアカウンセラーを配置する（謝金等不要）。また、「資格取得講座」受講者は、キャリアカウンセリングに先だって、「職業適性診断システム」を受ける。

⑤連携機関との就労支援事業に受講者の参加を図り、受講者の自立支援に継続的にあたる。

「資格取得講座」「就労支援セミナー」受講者を、横浜市と横浜ロータリークラブとの協力で実施する「インターンシップ」、NPO法人ヒューマンフェローシップとの協力で実施する「ジョブキャンプ」（野外でのボランティア活動）、横浜商工会議所との協力で実施する「職場見学」への参加を継続的に図っていく。

⑥「資格取得講座」を紹介するための「資格取得講座体験セミナー」を開催する。

よこはま若者サポートステーションにて、ニート・ひきこもり等の若年無業者を対象に、「資格取得講座」のポイントを体験学習できる「資格取得講座体験セミナー」を開催し、受講者の募集を行う。

⑦若者の就労支援のネットワークを拡げるため、「成果報告会」を開催する。

事業の総括として「成果報告会」を開催し、次年度に向けての課題の共有と、若者の就労支援に連携できる企業、NPO団体等を募っていく。

2. 事業の実施に関する項目

①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）

連携機関による実施委員会を組織し、各プログラムの進捗状況・連携状況を確認する。

資格取得講座への受講を若年無業者にとっての社会参画の機会と捉え、従来は1日3時間の設定を1日6時間の講座とする。

また、受講者の状況に応じて、就労支援セミナー、ジョブキャンプ、インターンシップ、職場見学への参加を促すことにより、資格取得とともに、社会的自立を図る。各受講生の活動履歴を掌握し適切な助言を行っていくためにもジョブ・カードを活用する。

a. 「資格取得講座」

- 開設講座数： 2講座（「ITコース」、「簿記コース」）
- 総授業時間数： 120時間（6時間/日×20日間）
- 定員： 10名
- 開催時期： 9月期 平成21年 9月24日～平成21年10月22日
12月期 平成21年12月14日～平成22年 1月20日

●講座内容：

【ITコース】

日	講義内容	日	講義内容
1日目	オリエンテーション ・資格取得について ・講座内容、教材、学習の進め方について ・キャリア相談会について ・受講にあたっての諸注意について	11日目	表計算データとコンテンツの書式設定 ・セルの書式設定 (表示形式・罫線・セル幅) ・演習問題・解説
2日目	文書作成Wordでコンテンツ作成① ・各部名称・基本操作の確認 ・文字入力・文章作成・編集	12日目	表計算ブックの管理 ・テンプレート・印刷の操作 ・ピボットテーブルの設定 ・演習問題・解説
3日目	文書作成Wordでコンテンツ作成② ・図形描画機能の操作・グラフ作成 ・復習・演習問題	13日目	表計算ブックの管理 ・形式を変更して保存操作 ・演習問題・解説
4日目	文書作成Wordでコンテンツ整理① ・表の作成・編集 ・復習・演習問題	14日目	Excelまとめ ・総合演習解説 ・模擬試験・解説 ・PowerPointの基本操作
5日目	文書作成Wordでコンテンツ整理② ・罫線・網掛け機能の操作 ・ページ設定(ヘッダー・フッター) ・改ページの挿入 ・復習・演習問題	15日目	プレゼンテーションコンテンツの作成・書式設定 ・表・グラフ・図表の挿入 ・オブジェクトの挿入・書式設定 ・スライドの書式設定
6日目	文書作成Wordの文書管理 ・校閲のための文書作成 ・他のデータ・アプリケーションの活用 ・ファイル・フォルダ管理	16日目	プレゼンテーションコンテンツの書式 ・スライドマスターの操作 ・アニメーション効果の操作 ・練習問題
7日目	Wordまとめ ・総合演習 ・模擬試験と解説 ・Excelの基本操作	17日目	プレゼンテーション管理と実行 ・保存・発行・印刷 ・グループ作業(コメントの編集、比較) ・練習問題・模擬試験
8日目	表計算データとコンテンツの作成 ・オートフィル機能・各種機能の操作 ・画像・イラストの挿入、編集 ・データの抽出	18日目	プレゼンテーション模擬試験 総合演習・Excel練習問題
9日目	表計算データの分析 ・フィルタオプションの操作 ・データの並べ替え・関数 ・3-D集計(グループ作業)	19日目	総合演習
10日目	表計算データの分析 ・関数応用・グラフの作成、編集 ・練習問題・解説	20日目	総合演習

【簿記コース】

日	講義内容	日	講義内容
1日目	オリエンテーション ・資格取得について ・講座内容、教材、学習の進め方について ・キャリア相談会について ・受講にあたっての諸注意について	11日目	その他の債権・債務の記帳
2日目	企業の簿記 資産・負債・資本と貸借対照表(B/S) 収益費用と損益計算書(P/L)	12日目	有価証券、固定資産、純資産(資本)の記帳
3日目	取引と勘定記入 仕訳と転記	13日目	税金の記帳
4日目	仕訳帳と総勘定元帳 試算表、精算表	14日目	決算整理(1) 現金過不足の整理、売上原価の計算
5日目	帳票と伝票(入金、出金、振替、仕入、売上)	15日目	決算整理(1) 貸し倒れの見積もり、売買目的有価証券の評価
6日目	現金・預金の記帳 小口現金、小口現金出納帳	16日目	決算整理(1) 固定資産の減価償却、引出金勘定の整理
7日目	商品売買の記帳・3分法・分記法	17日目	決算整理(2) 費用・収益の整理(繰り延べ、見越し)
8日目	仕入帳・売上帳、商品有高帳 売掛金・買掛金	18日目	精算表と財務諸表(貸借対照表・損益計算書) 日商3級過去問題演習・解説
9日目	手形取引の記帳 受取手形・支払手形	19日目	帳簿決算と財務諸表(貸借対照表・損益計算書) 日商3級過去問題演習・解説
10日目	受取手形・支払手形記入帳	20日目	日商3級過去問題演習・解説

●その他

- ・本講座開講前に定員8名、1日3時間の体験セミナーを実施する。
- ・ジョブ・カード等を用いて、講座開催期間20日中10日でキャリアカウンセリングを実施する(キャリアカウンセラーは、よこはま若者サポートステーションの職員の協力(謝金等不要)による)。

b. 「就労支援セミナー」

●開設講座数： 16回

●総授業時間数： 2時間

●定 員： 30名

●開催期間： 8月～翌2月 (月2回ペースで開催する)

※開催日・テーマの詳細は受講者の状況を参照

●講座内容：

- ・就職活動・就労に向けて必要な知識・マナー・リテラシーを習得するためのセミナーをよこはま若者サポートステーションの協力を得て開催する。

●その他

- ・セミナー受講者を対象としたキャリアカウンセリングの場をよこはま若者サポートステーションの協力を得て併設する。

②受講者の募集方法（手法・期間・効果）

受講者の募集にあたっては、以下の方法を用いて行った。

a. 「資格取得講座」（体験セミナーを含む）

●タウン誌への募集広告

開催期	発行日	発行紙面			
9月期	8月6日	青葉区版 緑区版 都筑区版	港北区版 旭区版	瀬谷区版 戸塚区版	中区・西区版 港南区版
	8月20日	鶴見区版 神奈川区版	泉区版 保土ヶ谷区版	栄区版 金沢区版	磯子区版 南区版
12月期	11月12日	青葉区版 緑区版 都筑区版 港北区版 旭区版	瀬谷区版 戸塚区版 中区・西区版 港南区版	鶴見区版 神奈川区版 泉区版 保土ヶ谷区版	栄区版 金沢区版 磯子区版 南区版

●関連団体へのチラシ送付・設置

- ・横浜市、市町村役所、教育委員会 約40団体
(神奈川県生涯学習センター、横須賀市生涯学習財団、鎌倉市生涯学習センター等)
- ・横浜市内地区センター 約80カ所
- ・神奈川県内NPO法人・支援団体 約20団体
- ・本事業協力機関
(よこはま若者サポートステーション、かながわ若者就職支援センター、
よこはまヤングワークプラザ等)

●問合せ者、他の講座受講者にチラシ配布

応募状況は、各講座の定員10名のところ、応募者多数のため抽選を行い、応募者全員に抽選結果を通知した。

b. 「就労支援セミナー」

●関連団体へのチラシ送付・設置

- ・横浜市、市町村役所、教育委員会 約40団体
(神奈川県生涯学習センター、横須賀市生涯学習財団、鎌倉市生涯学習センター等)
- ・横浜市内地区センター 約80カ所
- ・神奈川県内NPO法人・支援団体 約20団体
- ・本事業協力機関
(よこはま若者サポートステーション、かながわ若者就職支援センター、
よこはまヤングワークプラザ等)

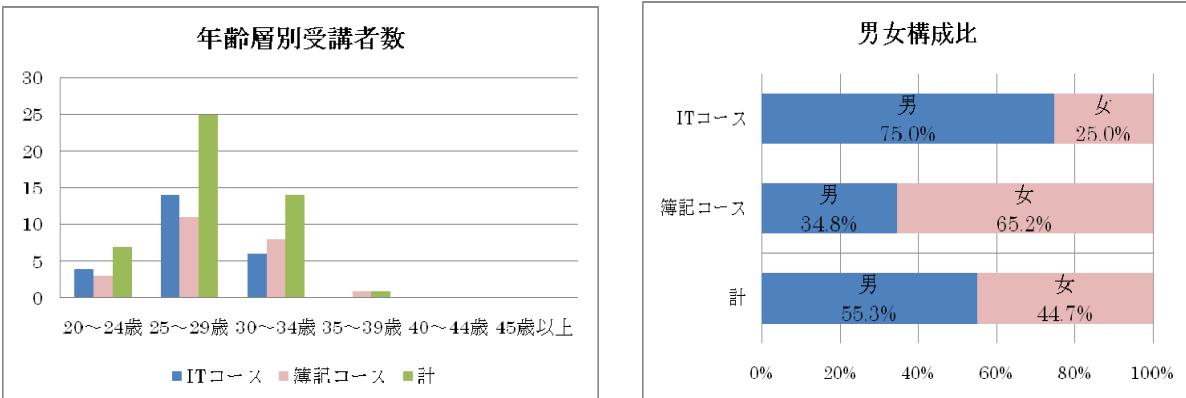
●問合せ者、他の講座受講者にチラシ配布

③受講者の状況

a. 「資格取得講座」

	IT コース		簿記コース	
	9月期	12月期	9月期	12月期
応募者数	62名	54名	57名	48名
受講者数	12名	12名	12名	11名
修了者数	9名	9名	10名	9名

※8割以上の時間、出席した受講生には履修証明書を発行する。

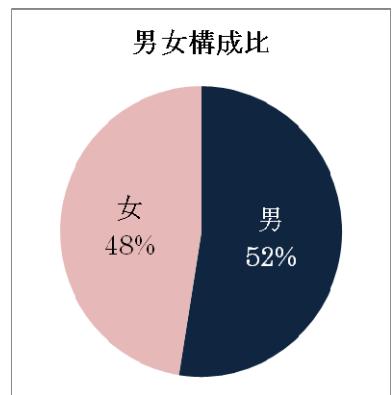
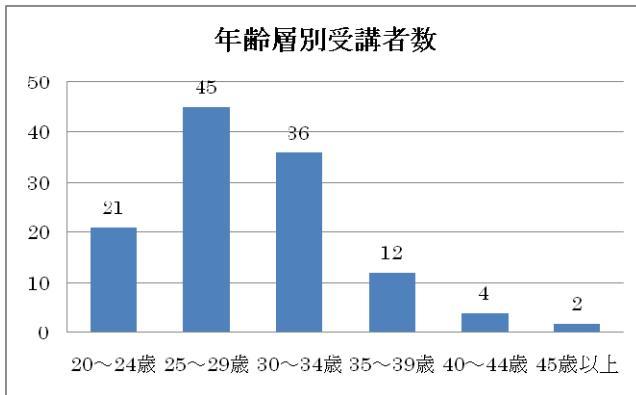


- 受講者の大半は20代後半で、若干男性の方が多い。コース別に比較するとITコースの男性75.0%に対し、簿記コースは女性65.2%と男女の構成比が全く異なる結果となった。

b. 「就労支援セミナー」

No.	日時	講座名	申込	参加
1	8/28(金)	「効果的な就職活動の進め方」	4名	4名
2	9/4(金)	「効果的な就職活動の進め方」	8名	7名
3	9/10(木)	「就活に役立つ自己分析セミナー」	10名	9名
4	10/9(金)	「就職という大きな問題は分解することからはじめよう」	8名	7名
5	10/16(金)	「私にとって、<働く>とは?」	10名	6名
6	10/29(金)	「あなたの応募書類をチェックしてみよう」	12名	10名
7	11/6(金)	「就職という大きな問題は分解することからはじめよう」	11名	7名
8	11/13(金)	「業種・職種の選び方」	17名	14名
9	11/30(金)	「あなたの応募書類をチェックしてみよう」	7名	4名
10	12/10(木)	「コミュニケーション上手になろう!」	14名	13名
11	12/11(金)	「キャリアプランを楽しく作ってみよう!」	13名	10名
12	12/18(金)	「自分の身を守るために必要な法律知識」	9名	4名
13	1/15(金)	「グループディスカッション」	8名	7名
14	1/26(火)	「面接なんて怖くない!」	4名	1名
15	2/10(水)	「応募書類の効果的な記入の仕方」	15名	13名
16	2/19(金)	「面接なんて怖くない!」	6名	4名
累計			156名	120名

※定員 30名



- ・定員30名で募集を行ったが、参加者は1名～14名とばらつきがあり、より実践的で、就職活動に活かせるセミナーは受講者数が10名を超している。
- ・受講者は20代後半から30代前半の方が多く、本事業のターゲットである若年者にフィットしたセミナー企画・開催ができたと考えられる。
- ・申込み者156名に対して、参加者120名、平均参加率76.9%と低く、申込みまではするが、参加までに至らずという社会への参加が難しい層も見受けられた。

④受講者の意識調査等

a. 「資格取得講座」

	IT コース		簿記コース	
	9月期	12月期	9月期	12月期
大変満足	5名 55.6%	8名 80.0%	7名 70.0%	5名 50.0%
満足	4名 44.4%	1名 10.0%	2名 20.0%	5名 50.0%
普通	0名 0.0%	1名 10.0%	1名 10.0%	0名 0.0%
不満	0名 0.0%	0名 0.0%	0名 0.0%	0名 0.0%
大変不満	0名 0.0%	0名 0.0%	0名 0.0%	0名 0.0%

- ・受講者の大半は、大変満足、満足しているが、受講者レベル差が大きく、有効に時間を使うことができなかつた受講生も見受けられた。個別対応、フォロー時間の必要性を感じた。
- ・ITコースの受講者は、「パソコンを使えるようになりたい」という傾向が強く、資格取得へのチャレンジ意欲があまり高くなかった。理由としては、受験料が高く、受講前よりもパソコンを使えるようにならなかったが、自信がなく受験申込に踏み切れないという方多かった。
- ・簿記コースの受講者は、以前に通信で簿記の学習を始めようとした、簿記検定受験を試みた方もおり、資格取得を目標に受講されていた方が多かった。受講者のほとんどが簿記検定3級を受験され、9月期の修了者10名中7名が取得している。12月期の受講者の結果は4月発表となる。

b. 「就労支援セミナー」

No.	講座名	大変満足	満足	普通	不満	大変不満
1	「効果的な就職活動の進め方」	2名	2名	0名	0名	0名
2	「効果的な就職活動の進め方」	0名	7名	0名	0名	0名
3	「就活に役立つ自己分析セミナー」	4名	5名	0名	0名	0名
4	「就職という大きな問題は分解することからはじめよう」	0名	5名	2名	0名	0名
5	「私にとって、<働く>とは?」	2名	1名	0名	0名	1名
6	「あなたの応募書類をチェックしてみよう」	3名	4名	2名	1名	0名
7	「就職という大きな問題は分解することからはじめよう」	3名	2名	1名	0名	0名
8	「業種・職種の選び方」	4名	1名	2名	0名	1名
9	「あなたの応募書類をチェックしてみよう」	1名	2名	0名	0名	0名
10	「コミュニケーション上手になろう！」	4名	7名	0名	0名	0名
11	「キャリアプランを楽しく作ってみよう！」	4名	4名	0名	0名	0名
12	「自分の身を守るために法律知識」	3名	1名	0名	0名	0名
13	「グループディスカッション」	1名	2名	3名	0名	0名
14	「面接なんて怖くない！」	0名	1名	0名	0名	0名
15	「応募書類の効果的な記入の仕方」	6名	5名	1名	0名	0名
16	「面接なんて怖くない！」	4名	0名	0名	0名	0名
累計		41名	49名	11名	1名	2名
		39.4%	47.1%	10.6%	1.0%	1.9%

- ・参加者の9割は、大変満足、満足したと回答しているが、受講者の考えていた内容と違う回もあったようで、アンケート結果の詳細については次年度のセミナー企画の参考にする。

⑤受講後の状況（修了者数・就職率）

a. 「資格取得講座」

2/24 現在

	IT コース		簿記コース	
	9月期	12月期	9月期	12月期
受講者数	12名	12名	12名	11名
修了者数	9名	9名	10名	9名
就職希望者	10名	11名	9名	10名
就職者数	2名	2名	0名	3名
アルバイト等	1名	1名	4名	0名
非就職者数	4名	7名	4名	6名
連絡取れず	3名	1名	1名	1名
就職率	30.0%	27.3%	44.4%	30.0%

- ・受講者47名中40名が就職を希望しており、13名が仕事についている。
- ・非就職者のほとんどが就職活動をしているが、引き続き、スキルアップできる講座があれば、参加してみたいという方も数名いる。

b. 「就労支援セミナー」

就労セミナー参加者については、次年度の受講希望アンケートを実施し、3月末時点で状況を把握する予定である。

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

若年無業者の方々が技能・技術を習得するための「資格取得講座」については、計画通りに開講し、「ITコース」はより実践的にパソコンが活用できるように、「簿記コース」は会計事務に必要な基本知識を習得し、さらなるスキルアップを目指せるような講座を実施することができた。

また、「資格取得講座」を紹介するために、ニート・ひきこもり等の若年無業者を対象に、「資格取得講座」のポイントを体験学習できる「資格取得講座体験セミナー」を開催した。

若年無業者の就職活動に向けた支援をテーマとした「就労支援セミナー」については、計画通り16回のセミナーを実施し、のべ120名の方に参加いただいた。より実践的な内容に人気があり、参加者が10名前後で疑問点などすぐに質問ができることが満足度につながっているようである。

「資格取得講座」受講者に対して、「ジョブ・カード制度」を運用については、受講中に配置している「キャリアカウンセラー」との相談会の際に、個別課題の洗い出し、自己分析のツールとして活用するように、オリエンテーションでは「ジョブ・カード制度」の仕組みを説明し、個別相談までに作成するよう促した

「資格取得講座」修了式には、連携機関との就労支援事業を紹介して、受講者の自立のための継続的な情報提供を行った。

【就労支援事業】

「サポステプログラム」 よこはま若者サポートステーション

「求職者向け講座」「定着支援講座」 ユースポート

「ジョブキャンプ」（野外でのボランティア活動） NPO法人ヒューマンフェローシップ

「職場見学」 横浜商工会議所 等

「成果報告会」については、横浜市こども青年局で主催している「ヨコハマユースフォーラム」との連携を図り、連携機関それぞれの今年度1年間の事業報告を行い、次年度に向けての課題を共有し、若者の就労支援のネットワークを拡げることができた。

②事業の成果及び改善点

「資格取得講座」の受講申込者数はのべ200名を超え、講座開講の必要性を感じている。受講者からは、講座に参加することがなければ、このような資格があることも知らず、チャレンジすることもなかったという話を聞き、本事業をきっかけに新たな可能性を見つけ、歩み出した若年者が少なからずいた事が、最大の成果である。

このような機会をもっと多くの方々に提供することが今後の課題となる。

「ITコース」の受講者の状況から見て、資格取得を目的とするよりも、「総務・人事部で必要な文書作成と管理」や「経理事務で使える表計算の集計と関数」などより具体的な業務に関する知識・技術を習得できる講座内容が有効である。

また、仕事に就くためには、まず、社会参画するための「コミュニケーション能力」から「ビジネスマナー」までを時間をかけて学べる講座も必要であると感じた。

「簿記コース」の受講者の状況からは、新たな分野へのチャレンジやスキルアップを目的とした受講者が多く、明確な目標を定めて取り組める「資格対策講座」が有効である。簿記検定3級を目指し、取得後は2級、1級とステップアップできるような講座の提供ができると、より高度な資格取得が実現できる。

「就労支援セミナー」の開催については、どの回も定員には達しておらず10名前後の参加者にとどまっているが、申込み者数に対する参加率や参加が多いセミナーの内容から見ても、ある程度個別に対応できる少人数制の開催が望ましいと考える。

③次年度以降における課題・展開

「資格取得講座」については、今年度の改善点を活かし、引き続き開催することを検討する。ステップアップできるような新たな講座の開発も進めていく。

「就労支援セミナー」の開催については、連携機関との就労支援事業として、就職活動の際に、できるだけ必要としているときにタイミングよく参加できるように、開講時期や開講内容等を組み立てることが大切であり、連携機関とのネットワークが重要である。それぞれが対面した若年無業者がその人にあった環境で支援を受けられるよう、相互の事業内容を共有できるようなネットワークの強化が必要である。

④成果の普及

本事業で開講した専門学校として提供できる専門分野に関する講座内容、指導ノウハウ、受講者の要望等を、今回、連携してきた企業、NPO団体等と情報共有を行うことによって、いろいろな方面から、若年者に対する就労支援ができるようなネットワークの強化をはかる。